# 防府市立西浦小学校　学校だより　令和７年度夏休み前号

学校教育目標　未来を見つめ夢や希望を抱き、なりたい自分に向かって挑戦し続ける西浦っ子の育成

めざす子ども像　「気づく」　「考える」　「行動する」　子ども

## なりたい自分に向かって前進した１学期でした！

異例の早さで梅雨が明け、7月からは猛暑続きの毎日でした。連日30度を越える暑さの中、冷感タオルや日傘が大活躍で、「暑さ指数」もなじみの言葉となりました。休み時間は室内で過ごすことも多かったのですが、全員が元気に終業式を迎えられたことが何よりの喜びです。「チーム西浦」のすべての皆様に感謝申し上げます。さて、4月8日の始業式で子どもたちに、『みなさんの「失敗を恐れず挑戦する姿」を見つけることが今年度の校長先生の1番の仕事です。』と話しました。それに応えるように、この1学期間、いろんなことに挑戦する子どもたちの姿を見ることができました。学校評価アンケートでも、「失敗を恐れず挑戦したことがあれば教えてください。」と問うたところ、たくさんの回答が返ってきました。まず、挑戦したいことがあるということがすばらしいです。さらに、自分が何に挑戦し、どうだったかを振り返ることができているのも大変重要なことです。

学年が上がると、挑戦したことに対する思いも書き添えられており、子どもたちは、未来に向かって着実に歩んでいるのだと頼もしく、嬉しく思いました。

**【児童の回答抜粋】・あいさつ・だるまうき・宿題・雲梯・料理・反復横とび・授業・縄跳び・草取り・九九・スキップ・勇気をもって発表した・体育でできない運動に挑戦した・できないことを無理と言わずに頑張った・英検で勉強が追いついてなかったけど挑戦した・人見知りを克服したい・大きな声で「静かにしよう」と言った。・宿泊学習・算数の説明・放送の仕事・習い事で失敗したけど最後に成功した・代表委員会での発表・本気でいろんなことをしたい・全校の前でのあいさつ・わからないところを先生に聞く・運動会の応援団　など**

さて、いよいよ夏休みに入ります。いつも願っていることは、「好きなこと、夢中になれることを見つけてほしい」ということです。ある番組で絵本作家でもある芸人さんが、「好きなことを見つけるには、成功体験がきっかけとなる。成功体験に出会うには、行動することが大切。」と話していました。好きなこと、夢中になれるものが見つからないという話もよく聞きます。何となくやってみたことが、予想外に楽しかったり、うまくできたりして、成功体験となり、好きなことに、そして夢や希望につながっていくかもしれません。「なりたい自分に向かって挑戦し続ける」ために、夏休みは、絶好のチャレンジ期間です！

### なかよし班の紹介ポスター（児童昇降口）

### 学校閉庁日のお知らせ

8月9日（土）～16日（土）までを学校閉庁日といたします。閉庁日における緊急時には、防府市役所または教育委員会にご連絡ください。

【緊急連絡先】

0835－23－2111（防府市役所）

0835－25－2490（教育委員会）

ひとりでも多くの方の参加をお待ちしております。

### 環境整備作業について

○作業日　8月17日（日）【雨天順延　8月23日】

○開始時刻　草刈り機‥6時　草刈り機以外‥7時

**参加可能な児童は、安全のため、保護者と一緒に参加してください。（当日は登校日ではありません。）**

○17日が延期の場合　5時30分にメール配信するとともに学校昇降口に作業延期の紙を掲示

23日が中止の場合　5時30分にメール配信するとともに学校昇降口に作業中止の紙を掲示

地域とともに　コミュニティ・スクールだより　　2025年夏休み前号

# にこにこ西浦

西浦小へどうぞお越しください！
学校と地域の今を未来につなげよう！

## 3年生総合的な学習　「西浦みかんを広めよう　摘果体験を通して」

倉重みかん園さんから西浦のみかん栽培について、いろいろなお話をうかがいました。温暖な気候、佐波川のおかげで野生動物からの被害が少ないことなど、西浦は、みかん栽培に適した環境なのだそうです。200本以上あるみかんの木ですが、おいしいみかんを育てるため、摘果体験もさせていただきました。秋には、みかんの収穫をお手伝いする予定です。西浦のみかんのおいしさを他地域にも広めていきたいと考えています。

**九九がレベルアップしました！**

3年生の「九九レベルアップ教室」が、最終回を迎えました。これまでたくさんの地域の方が、児童の九九レベルアップに力を貸してくださいました。1対1で、何度も丁寧に聞いてくださったおかげで、自信をもって、九九を唱えることができるようになりました。2学期10月からは、2年生の「九九マスター教室」がスタートします。

**藤本様による目録の贈呈**

6月20日に故　水谷幸子様（旧姓山崎）による寄付金の目録贈呈式を甥の藤本様、山崎様のご出席のもと、本校校長室にて行いました。水谷様は、西浦のご出身で、長年、西浦をはじめ市内の中学校で教師として勤務されました。大変な読書家でもあり、本も執筆されているほどです。「お世話になった西浦のために役立ててほしい」とのご遺志により、このたびの寄付となりました。ご遺族のご意向もあり、図書室に「水谷幸子文庫」を設けるとともに教育活動充実のために大切に使わせていただきたいと思っております。ありがとうございました。

## 地域の方からのメッセージ　　熱心に子どもたちに関わってくださる思いをお聞きしました。

松田さん

私は、子どもが大好きです。子どもたちに「なりたい自分」になってほしい。その手助けができたらと思っています。

長峯さん

私は、みなさんの元気なあいさつと明るい笑顔を見たくて、毎朝、横断歩道に立っています。これからも元気なあいさつを聞かせてください。

**週に何度も学校に足を運び、子どもたちに関わってくださっています。地域の力、地域の温かさが子どもの成長を支えていると実感する日々です。（子どもたちには、ビデオ映像でお二人のメッセージを伝えています。）**